

2008年10月29日

## 11月1日から、SHIBUYA109、109 - で PASMOなど複数の電子マネーが使えます

～ PASMO、Suica、iD対応の共用リーダー/ライターを導入し、お客さまの利便性を向上させます～

株式会社東急モールズデベロップメント  
東京急行電鉄株式会社  
三井住友カード株式会社

株式会社東急モールズデベロップメント(本社:東京都渋谷区、社長:越智武臣)は、11月1日(土)、  
「SHIBUYA109」「109 - 」(いずれも東京都渋谷区)全館(一部店舗を除く)に、  
「PASMO」、「Suica」、「iD<sup>TM</sup>」の3種類の電子マネー決済に1台で対応可能な共用リーダー/ライターを  
導入します。

今回の導入により、PASMO、Suicaの電子マネーに加えて、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモと  
三井住友カード株式会社(本社:東京都港区、社長:月原紘一)が共同で推進する後払い電子マネー  
「iD」での決済が可能となります。お客さまのお支払いの選択肢を増やし、利便性を向上させるとともに、  
店舗側にも端末設置スペースを削減できるといったメリットもあります。

この「PASMO」「Suica」「iD」共用リーダー/ライターの設置は、PASMO電子マネーの加盟店展開  
について業務提携している東京急行電鉄株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:越村敏昭)と三井住  
友カードが進めているもので、今年4月に東京急行電鉄が開業したショッピングセンター「remy go  
tanda(レミィ五反田)」に続き、2例目となります。

なお、各電子マネーの決済データ処理を行う中継サーバーについては、オムロン株式会社が開発し  
た「OTAC(オータック)」を利用し、運用を委託します。

「SHIBUYA109」「109 - 」における電子マネー対応および共用リーダー/ライター導入の  
概要は別紙のとおりです。

以 上

## 別紙

### 「SHIBUYA 109」「109 - 」における電子マネー対応および共用リーダー/ライター導入の概要

サービス開始日 2008年11月1日(土)

導入店舗 合計168店舗  
(内訳)「SHIBUYA 109」 118店舗  
「109 - 」 50店舗

導入端末数 179台

対応する電子マネー 「PASMO」、「Suica」、「iD」

#### (参考)

##### 「PASMO電子マネー」概要

PASMO電子マネーは、2007年のICカード乗車券「PASMO」の導入と同時にサービスを開始しました。電子マネーの発行者は(株)パスモであり、東京急行電鉄はPASMO電子マネー加盟店展開を行う事業者にあたります。

PASMOの流通枚数は1,045万枚(2008年10月17日現在)になっています。

##### 「iD」概要

NTTドコモが展開するポストペイ(後払い)方式の決済ブランドです。NTTドコモのおサイフケータイもしくは本機能が搭載されているカードを専用端末にかざすだけでサインレス・スピーディに決済が完了します。ポストペイ方式なので、チャージ(入金)手続きの煩わしさや残金を意識することなく、少額から高額までフルレンジでご利用いただけます。

iD会員数は約897万人、iD端末台数は約38万台にまで広がっています。(2008年9月末時点)

「PASMO」は株式会社パスモの登録商標です。

「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

「iD」「おサイフケータイ」は株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの商標または登録商標です。

以上